

第1回国立大学法人情報系センター長会議議事録

<開催日時> 平成18年11月17日(金)14:00～17:00

<開催場所> 福井県福井市ユアーズホテルフクイ

<出席者> (敬称略)

文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室長 柴崎 孝	岐阜大学総合情報メディアセンター長	村瀬康一郎
同課 学術基盤整備室学術情報第二係 高橋耕輔	静岡大学総合情報処理センター長	八巻直一
広島大学情報メディア教育研究センター教授 相原玲二	浜松医科大学情報処理センター副センター長	青島玲児
北海道教育大学情報処理センター長 奥田 亨	名古屋工業大学情報基盤センター長	松尾啓志
室蘭工業大学情報メディア教育センター教授 刀川 眞	豊橋技術科学大学情報メディア基盤センター長	中川聖一
帯広畜産大学情報処理センター長 口田圭吾	三重大学総合情報処理センター長	太田義勝
弘前大学総合情報処理センター長 深瀬政秋	滋賀大学情報処理センター助手	大内理香
岩手大学総合情報処理センター助教授 吉田等明	滋賀医科大学マルチメディアセンター副センター長	小森 優
秋田大学総合情報処理センター長 坂田真人	京都教育大学情報処理センター長	矢野喜夫
山形大学学術情報基盤センター長 中川清司	同 センター次長	中峯 浩
福島大学総合情報処理センター長 佐藤寿博	京都工芸繊維大学情報科学センター長	若杉耕一郎
茨城大学IT基盤センター長 小澤 哲	大阪外国語大学情報処理センター長	堀 一成
筑波大学学術情報メディアセンター長 板野肯三	大阪教育大学情報処理センター長	越桐國雄
宇都宮大学総合メディア基盤センター副センター長 永井 明	神戸大学学術情報基盤センター長	鍋木 誠
埼玉大学情報メディア基盤センター長 前川 仁	奈良教育大学学術情報研究センター副センター長	加藤久雄
千葉大学総合メディア基盤センター長 伊勢崎修弘	奈良女子大学総合情報処理センター長	佐久間春夫
東京医科歯科大学情報処理センター長 田中 博	和歌山大学システム情報学センター長	宗森 純
東京外国語大学総合情報コラボレーションセンター長 佐野 洋	奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター長	横矢直和
東京学芸大学情報処理センター教授 横山節雄	鳥取大学総合メディア基盤センター長	山岸正明
東京農工大学総合情報メディアセンター長 寺田松昭	島根大学総合情報処理センター長	平川正人
東京芸術大学芸術情報センター助手 松村誠一郎	岡山大学総合情報基盤センター副センター長	森川良孝
東京工業大学学術国際情報センター長 酒井善則	広島大学情報メディア教育研究センター長	渡邊敏正
お茶の水女子大学総合情報処理センター長 浅本紀子	山口大学メディア基盤センター長	三池秀敏
電気通信大学情報基盤センター長 尾関和彦	徳島大学高度情報化基盤センター教授	北 研二
一橋大学総合情報処理センター長 尾畑 裕	香川大学総合情報基盤センター長	中村邦彦
横浜国立大学総合情報処理センター長 大塚英作	愛媛大学総合情報メディアセンター長	平田浩一
新潟大学総合情報処理センター長 山口芳雄	高知大学総合情報センター長	尾崎登喜雄
長岡技術科学大学情報処理センター長 中川匡弘	福岡教育大学情報処理センター長	市ノ瀬慎一
上越教育大学情報基盤センター助教授 大森康正	佐賀大学総合情報基盤センター長	只木進一
富山大学総合情報基盤センター長 木原 寛	長崎大学情報メディア基盤センター長	本多正幸
金沢大学総合メディア基盤センター長 岩原正吉	熊本大学総合情報基盤センター長	宇佐川 毅
福井大学総合情報処理センター長 桜井哲真	大分大学総合情報基盤センター長	宇津宮孝一
同 副センター長 山下芳範	宮崎大学総合情報基盤センター長	吉原郁夫
同 専任教員 田中光也	鹿児島大学学術情報基盤センター長	中山 茂
信州大学総合情報処理センター長 竹下 徹	鹿屋体育大学スポーツ情報センター長	志村正子
北陸先端科学技術大学院大学情報科学センター助教授 敷田 幹文	琉球大学総合情報処理センター長	高良富夫
山梨大学総合情報処理センター長 岩沼宏治		

<配付資料>

資料1 第1回国立大学法人情報系センター長会議資料

資料2 文部科学省説明資料

資料3 基調講演資料「ネットワーク時代における全学統合認証基盤とその利活用」

資料4 議事資料「第18回情報処理センター等担当者技術研究会」

「第1回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議報告」

「第1回国立大学法人情報系センター長会議への要望」

「国立大学法人情報系センター協議会運営規約(案)」

<議事要約>

当番校福井大学の学総合情報処理センター山下副センター長の司会により、福井大学長及び福井大学総合情報処理センター長挨拶の後、文部科学省研究振興局情報課柴崎学術基盤整備室長より、挨拶を兼ねて情報科学技術及び学術情報基盤関連の最近の動向等について説明があった。また、広島大学情報メディア教育研究センター相原玲二教授による基調講演「ネットワーク時代における全学統合認証基盤とその利活用」が行われた。引き続き、関連各会議からの報告、ならびに参加メンバーからの付議事項について審議した。最後に、福井大学研究・医療担当理事から閉会挨拶があり、閉会した。

<議事詳細>

1. 文部科学省研究振興局情報課柴崎学術基盤整備室長挨拶

(1)次世代スーパーコンピュータプロジェクトについて

文部科学省では平成18年度より、長期的な国家戦略を持って取り組むべき重要技術(国家基幹技術)である「次世代スーパーコンピュータ」を平成22年度の稼働(平成24年の完成)を目指して開発している。次世代スーパーコンピュータについては、産学官に広く開放し、基礎研究から産業利用まで幅広く共用するため、特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律が本年7月から施行されている。同法の施行に伴い、特定高速電子計算機施設の共用の促進に関する基本的な方針が本年6月30日付けで告示された。現在、共用の促進に関する基本方針に対する意見募集中。

(2)平成19年度概算要求における特別教育研究経費等の状況について

国立大学法人運営費交付金については、政府予算そのものが厳しい状況にあるが、文部科学省としては学術政策上の必要性を踏まえつつ、各法人の重点事項としての優先順位を尊重するとともに、各法人の自助努力を重視するという考え方にに基づき要求している。これから12月までの間大変厳しい予算折衝が予想されるが、最大限努力する。また、学術情報基盤に関連する要求は7件あり、本年3月に科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会が取りまとめた「学術情報基盤の今後の在り方について(報告)」の趣旨を踏まえた要求も見られる。

(3)情報科学技術に関する研究開発の推進方策について

科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会では、第3期科学技術基本計画及び分野別推進戦略を踏まえ、本年7月に「情報科学技術に関する研究開発の推進方策」を取りまとめた。同報告では文部科学省の果たすべき役割、重点的に推進すべき研究開発課題及び研究開発の推進方策等が示されている。

2. 基調講演

講師 広島大学情報メディア教育研究センター相原玲二教授

演題 「ネットワーク時代における全学統合認証基盤とその利活用」

概要 ネットワーク時代における全学統合認証基盤とその利活用について、配付資料を参考にして広島大学の導入までの経緯、導入の目的、全学電子認証システム利用状況等について説明があった。また、全学統合認証システムの導入は大変な作業であるが、多くのメリットがあり、また、統合認証システムに沿って教職員が共通認識を持って作業できたことが大きかったこと等が述べられた。

3. 議 事

3-1. 報告事項

(1)第18回情報処理センター等担当者技術研究会について(金沢大学岩原総合メディア基盤センター長)

本研究会は、平成18年9月7日～8日に34校、65名が参加し、実施。情報処理センター等の技術系職員が一堂に会して、最新技術やシステムの管理、21件の研究発表、意見交換を主旨として実施している。

(2)第1回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議について(岩手大学吉田総合情報処理センター助教授)

本会議は、今年度より国立大学法人情報系センターを参加対象とし、平成18年9月21、22日の両日に実施、1日目44大学74名、2日目は学術情報処理研究集会として82名の参加があり、14件の研究発表が行われた。

3-2. 審議事項

3-2-1. 第1回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議における要望について(岩手大学吉田総合情報処理センター助教授)

「第2回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議」、「第11回学術情報処理研究集会」にかかる委員の確認及びセンター長会議の再定義について付議され、審議の結果、次年度以降準拠して取り扱うことが承認された。提案要旨以下の通り。

(1)「第2回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議」及び「第11回学術情報処理研究集会」にかかる委員(案)について確認及び承認。

- (2) センター長会議の位置づけについて、その理念と行動範囲を明記する。規約や規則を整備する必要あり。
- (3) センター長会議と研究交流・連絡会議を分けて開催することに異論ないが、別の日に開催する必然性はないように思われる。
- (4) 会議の性質からセンター協議会とセンター長会議の開催時期を合わせることも考えられる。

3-2-2. センター長会議のあり方について(埼玉大学, 福井大学)

本年度国立大学法人情報系センター協議会(総会)の当番校である埼玉大学前川情報メディア基盤センター長から、センター協議会のあり方について付議。ワーキンググループを立ち上げ、国立大学法人情報系センター運営規約(案)の内容等協議の結果、センター協議会(総会)及びセンター長会議については、以下の意味合いから役割分担の上、従来どおり別々に開催することを提案した。

◆センター協議会(総会)は協議会全体の事項を審議、大学間の情報交換を行う。また、全国共同利用情報基盤センターをもつ大学との情報交換を行う。

◆センター長会議は、学内IT基盤のマネージメントに関わる事項を審議する。また、文部科学省等関係機関との情報交換を行う。

一方、今回情報系センター長会議の当番校である福井大学桜井総合情報処理センター長から、センター長会議のあり方について提案があった。

審議の結果、センター長会議のあり方については、本情報系センター長会議メンバー及びセンター協議会(総会)のメンバーから構成されるワーキンググループで再検討することが承認された。ワーキンググループのメンバーについては、基本的に自主参加によることとするが、議長校よりワーキンググループへの参加を求められた機関は可能な限り協力することが承認された。ワーキンググループの答申結果については、ネットワークを通して関係諸機関に情報公開すること、本件事案の修正・承認は、次年度情報系センター長会議での決議に代えて、センター協議会(総会)での決定でもよいことが承認された。

3-2-3. 次期開催校

以下承認された。

第2回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議(平成19年度): 島根大学

第2回国立大学法人情報系センター長会議(平成19年度) : 宇都宮大学

3-2-4. その他

以下、追加議題の提案があり、了承された。

(1) 情報系メーリングリストについて(鹿児島大学谷口総合情報処理センター長)

nipc メーリングリストは SPAM メールが多く、有効に活用するのが困難な状況に陥っているため、廃止も含め今後の運用について審議の結果、廃止方承認された。

(2) 大学 CIO の権限とセンターの関わりについて(福井大学桜井総合情報処理センター長)

大学 CIO の権限とセンターの関わりについて福井大学の事例が紹介された。

付記: 国立大学法人情報系センター長会議設立経緯

従来より、わが国の情報系センターとして、省令施設に認定された総合情報処理センターと、その他の情報処理センターの2系列があったが、国立大学法人化後の統合・発展のため、組織整備することとし、従来の学術及び総合情報処理センター長会議を平成17年度で終了し、平成18年度より改めて国立大学法人情報系センター長会議として開始することが、第3回国立大学法人情報系センター協議会総会で決定された。下表に、これまでの会議リストを示す。

◆学術及び総合情報処理センター研究交流・連絡会議

回	年度	開催場所
1	平成元	神戸大学
2	2	岡山大学
3	3	広島大学
4	4	千葉大学
5	5	金沢大学
6	6	東京工業大学
7	7	横浜国立大学
8	8	愛媛大学
9	9	図書館情報大学
10	10	山口大学
11	11	弘前大学
12	12	鹿児島大学
13	13	富山大学
14	14	山梨大学
15	15	茨城大学
16	16	鳥取大学
17	17	佐賀大学

◆学術及び総合情報処理センター長会議

回	年度	開催場所
1	昭和 61	東京工業大学
2	62	筑波大学
3	63	神戸大学
4	平成元	岡山大学
5	2	新潟大学
6	3	電気通信大学
7	4	長崎大学
8	5	広島大学
9	6	千葉大学
10	7	信州大学
11	8	東京農工大学
12	9	熊本大学
13	10	金沢大学
14	11	埼玉大学
15	12	徳島大学
16	13	岐阜大学
17	14	山形大学
18	15	琉球大学
19	16	群馬大学
20	17	静岡大学

◆国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議

回	年度	開催場所
1	平成 18	岩手大学
2	19	島根大学
3	20	

◆ 国立大学法人情報系センター長会議

回	年度	開催場所
1	平成 18	福井大学
2	19	宇都宮大学
3	20	

以上、2007/08/26

福井大学総合情報処理センター長 高橋謙三 記